

2024年3月末現在。

Canaccord Genuity Opportunity Fund

重要事項

リードマネージャー: Mark Piper
 ファンド規模: 8億3,800万ドル
 アイルランド設定日: 2008年9月26日
 ISA/PEP資格: 有
 SIPP資格: 有
 英国: 報告ファンドのステータス: 有
 FCAによる認可: 有
 CBoIによる認可: 有
 MAS規制海外スキーム: 有
 国際ピアグループ: Morningstar EAA Fund
 USD アグレッシブ配分²

その他の情報

最小投資額
 初期(または通貨換算):
 Aクラス: 5,000ドル
 Tクラス: 5,000ドル
 Rクラス: 50,000ドル
 Hクラス: 5,000,000ドル
 継続(または通貨換算): 1,000ドル
 本拠地: ダブリン
 証券保管/信託機関: ノーザントラスト
 利回り: 0.0%³
 SRRI: 4⁴

ディーリング

取引終了時刻: 午後2時
 ディーリング頻度: 毎日
 ノーザントラスト連絡先 (Fax):
 +353 1 531 8516

連絡先

funds@canaccord.com
 英国: +44 20 7523 4552
 ジャージー島: +44 1534 708 090
 ガーンジー島: +44 1481 733 900
 マン島: +44 1624 690 100

投資にはリスクが伴います。投資の価値と収益は上昇することもあれば下落することもあり、当初の投資額を取り戻すことができない場合があります。

投資判断を下す際には、投資家向け重要事項説明書 (KIID) やファンドの補足資料を十分にお読みください。

過去の実績は将来の指標にはなりません。
 運用益は米ドルで表示されています。現行の為替レートで他の通貨に変換すると、リターンが大幅に異なる場合があります。

本文書はマーケティング通信であり、契約上の拘束力を持つものではありません。UCITSの目録見書およびKIIDをご覧ください。本文書のみに基づき、投資に関する最終的な決定を下すことはお控えください。

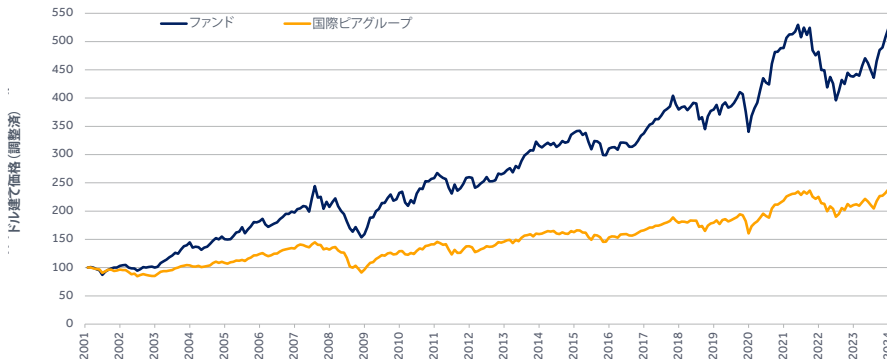
重要な情報

次のページをご覧ください

投資目標

当ファンドの投資目標は、集合投資スキームにより株式や投資信託に対し、また個別の高品質な固定金利証券に対し、国際的に分散型投資を実施して資本成長を促すことにあります。

リターン特性¹



*2024 YTDは、2024年1月1日から2024年3月31日までの年初来データです。
 出典: Morningstar & CGWM

個別実績 (%)¹

前四半期末までのトータルリターン (Morningstarからのピアグループデータ、数値は未監査)

	2023年4月1日 2024年3月31日	2022年4月1日 2023年3月31日	2021年4月1日 2022年3月31日	2020年4月1日 2021年3月31日	2019年4月1日 2020年3月31日
オポチュニティファンド	+19.48	-9.18	-1.35	+43.58	-10.34
国際ピアグループ	+13.15	-6.48	+3.01	+36.23	-10.56

累積実績 (%)¹

ファンド設定日から2024年3月31日までのトータルリターン (Morningstarからのピアグループデータ、数値は未監査)

	1か月	3か月	年初来	1年	3年	5年 (2001年4月)	設定日
オポチュニティファンド	+2.96	+7.81	+7.81	+19.48	+7.04	+37.80	+423.00
国際ピアグループ	+2.63	+5.16	+5.16	+13.15	+9.00	+32.81	+138.35

組入上位10銘柄 (%)

iShares Core S&P 500 UCITS ETF	14.28
Natixis Harris Associates US Equity Q/A USD Acc	7.11
Findlay Park American USD Inc	7.04
Natixis Loomis Sayles US Growth Equity S1/A USD	4.99
GQG Partners US Equity USD I Acc	4.91
Vanguard S&P 500 UCITS ETF	4.78
Waverton European Capital Growth USD I Acc	4.48
Pacific North of South EM All Cap Equity USD R2	4.42
Polar Capital North American I USD Inc	4.00
Morant Wright Fuji Yield JPY Acc	3.75

出典: CGWM

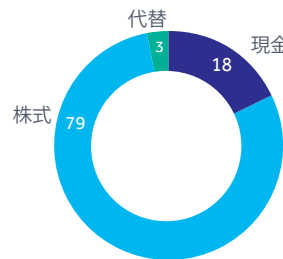
1ここに記載した実績データは、Friends Provident International Limited Canaccord Genuity Opportunity Fundの実績を示すものです。2008年9月26日に当ファンドに変換された後、同等のパラメータと投資プロセスをもって、当ファンドと同じ投資チームが管理運営しています。当ファンドの開始日は、2008年9月26日です。ファンド実績と経費の動向は当該実績履歴から変遷を辿っていきます。地域配分を含む将来の資産配分は、実勢の市場動向と市場心理に依存し、過去の資産配分とは大きく異なるものになる可能性があります。2019年1月1日より、当ファンドの実績の表示は、ピアグループとの一貫性を保つため、AクラスからRクラスに変更となりました。ファンドの実績と経費は、その時点以降変動していません。実績は参考目的で国際ピアグループと対照させて記載されています。

2MorningstarによるGIFSの提供終了に伴い、2020年9月1日より、国際ピアグループはGIFS USD Aggressive AllocationからEAA Fund USD Aggressive Allocationに変更となりました。過去の実績は将来の指標にはなりません。

3出典: ノーザントラスト。

4Synthetic Risk and Reward Indicator (SRRI) では、ファンドの変動率の履歴を表示し、それに基づいて分類を行いません。値が1~7の7段階の相対評価となり、1が低リスク、7が高リスクを示します。

投資部門別分析 (%)



Canaccord Genuity Opportunity Fund – マネージャーによる解説

本文書は情報のみを目的としたものであり、投資または関連金融商品の勧誘や売買を提案するものではありません。本文書は特定の団体の特定の投資方針や金融情勢、ニーズを考慮したものではありません。投資にはリスクが伴います。本文書に記載されている投資がすべての投資家に適合するとは限りません。投資家は、ご自身の金融目標および金融資源に基づいて投資決定を下す必要があります。不明な点がある場合は、投資アドバイザーに助言を求めてください。過去の実績は必ずしも将来の指標にはならず、投資家は当初の投資額を取り戻すことができない場合があります。投資が投資家のベース通貨以外の通貨で行われている場合、こうした投資の価値と、そこから生じるインカムは、為替レートの変動による影響を受けます。その影響が、有利になる場合も不利になる場合もあります。課税の水準と基盤が変更となる場合もあります。

Canaccord Genuity Investment Funds plc (「CGIF」)は、サブファンド毎に責務が分割されたアンプレラ型投資信託です。CGIFはオープン・エンド型でアンプレラ型の、有限責任の投資会社として、アイルランドの法律の下、登録番号367917で設立され、2011年の欧州委員会指令(譲渡可能証券への集合投資事業)に準拠して認可されています。CGIFの登記所在地は、3 Dublin Landings, North Wall Quay, Dublin 1, D01 C4E0です。CGIFはアイルランド中央銀行の管理下にあります。CGIFは、英国2000年金融サービス・市場法の第264項に定める目的で公認された集団投資スキームです。CGIFは、2009年証券先物取引条例(投資の提供)(集団投資スキーム)附則第6表、第2(3)節に基づき、シンガポール通貨監督庁により、制限スキームとして分類されています。CGIFは、2008年集団投資スキーム法の附則4の第1項に基づき、マン島において承認されています。マン島金融サービス機構は、CGIFに関して発表された声明または意見書の正確性のすべてを保証するものではありません。フランス、ドイツおよびイタリアでは、CGIFのサブファンドの一部は、欧州連合指令2009/65/ECの第93(3)条に基づく登録を受けています。

Canaccord Genuity Wealth Management (「CGWM」)は、ガーンジー島、マン島、ジャージー島におけるCanaccord Genuity Wealth (International) Limited(「CGWI」)と、Canaccord Genuity Group Inc.の完全子会社であるCanaccord Genuity Wealth Limited(「CGWL」)の商標です。英国では、本文書は、金融行動監視機構から認可および規制を受けたCGWLにより発行されています。登記所在地: 88 Wood Street, London, EC2V 7QR。ガーンジー島、マン島、ジャージー島では、本文書はCGWIが発行するもので、CGWIはガーンジー金融サービス委員会、マン島金融サービス機構およびジャージー金融サービス委員会から認可および規制を受けており、ロンドン株式取引所の会員です。CGWLはガーンジー島で登録されています。CGWIは、「ファンドサービス事業」を行うために、1998年(改訂版)の金融サービス(ジャージー)法に基づいて登録されています。ジャージー金融サービス委員会は、1998年の金融サービス(ジャージー)法により、その法律の下での職務遂行によって生じる法的責任から保護されています。本文書に記載の情報は、信頼できると判断した資料と情報源に基づきますが、CGWMは、情報の正確性、完全性、または信頼性について、明示または黙示を問わず、いかなる表明および保証も行いません。本文書に含まれるすべての意見と推定は予告なしに変更される可能性があります。CGWMは本文書に記載の情報を更新する義務を負いません。CGWM、その関連会社、または従業員はいずれも、本文書の使用によって生じる間接損害または結果損害に対し、一切の責任を負わないものとします。CGWMは、宣伝された商品、証券、またはサービスがおお客様の法域で利用可能であることを、明示的または黙示的に保証するものではありません。したがって、商品、証券、またはサービスをお客様の法域で、またはお客様に対して宣伝または利用可能にすることが(国籍、居住地、またはその他の理由で)禁止されている場合、そのような製品、証券、またはサービスはお客様を対象としたものではありません。CGWMおよび/または関連当事者は適宜、本文書に記載されている投資または関連投資においてポジションを保持し、市場を形成し、および/または取引を行うことがあり、そうした投資の発行体に金融サービスを提供する場合があります。当ファンドのパフォーマンスをピアグループのパフォーマンスと比較するにあたり、ファンドマネージャーは、当ファンドの投資パラメータが国際的なピアグループの投資パラメータに最も近いと考えています。ただし、投資家は、当ファンドが手数料、課税措置、またはその他の特徴において、国際的なピアグループに含まれるファンドとは異なる場合があることに注意する必要があります。

Canaccord Genuity Opportunity Fundは3月に2.96%上昇した一方、ベンチマークのピアグループであるMorningstar EAA Fund USDアグレッシブ配分セクターは2.63%上昇しました。過去12ヶ月間の当ファンドの上昇率は19.48%であり、ピアグループの13.15%高より高く、かつ過去12ヶ月中10ヶ月でピアグループを上回るパフォーマンスを出しました。

3月もまた、当ファンドと世界の株式市場にとって良い月となりました。米ドルベースのFTSE全世界指数は3.06%高で3月を終了しています。世界の多くの地域で景気が上向いていることは、3月の投資家の信頼を確実に回復させました。しかし現時点までに見られる改善の大部分は、労働指標や鉱工業生産といったハードデータではなく景況感などのソフト経済指標上のもです。ですが3月の株高の真の要因となったのは、中央銀行の政策でした。

アメリカではFRBのパウエル議長がFOMC後に行った会見においてわずかなハト派傾斜の兆候を見せたことで、市場の地合いが改善しました。パウエル議長は今年予想される3回の利下げを再確認し、インフレと成長予測を上方修正、そして1月と2月に観測された月間のインフレ上昇の懸念を、近い将来FOMCの決断に影響するものではなく単なる誤差として払拭しました。むしろインフレがピーク時からかなり下落したことや、失業率が上昇傾向にあることから、FRBの政策はインフレ撃退に特化した政策から、価格安定と雇用の最大化の双方に取り組むよりバランスの取れたものへとシフトし始めています。

投資家はFOMCを好意的にとらえた一方、最近最も注目を集めた中銀の会合は日銀の会合でした。日銀はついに金利を0.1%引き上げて0.0~0.1%にすることで、マイナス金利政策を終了、イールドカーブ・コントロール政策も破棄し、ETFとREITの購入終了も発表しました。しかしながら、日本国債についてはここ最近と同じペースでの購入を続ける方針です。

当ファンドの活動について述べると、2月に開始した小規模の金ポジションの追加を継続しています。また過去1年間に多くの商品価格が下落した現在の状況を好機として、当ファンドは3月初頭にInvesco Bloomberg Commodity UCITS ETFを通して一般的な商品銘柄も追加しました。現在のところ2種のポジションを合わせると、当ファンドの約3%に相当します。

またStewart Investors Asia Pacific Leaders Sustainabilityファンドの組み入れ率を削減することで、3月には当ファンドのアジアへの配分率を縮小しました。そして収益は先月の解説でお伝えしたPolar Capital Healthcare Opportunities Fundへの追加組み入れに利用しています。

当ファンドと利用可能な株式クラスの詳細については、Webサイト www.canaccordgenuity.com をご覧ください。